

平成24年度明るい選挙啓発 ポスターコンクール 優秀賞作品

神奈川県選挙管理委員会



海老名市立上星小学校1年
小柳璃南



函嶺百合学園小学校2年
小野 晏



海老名市立有鹿小学校3年
高石 惇里



伊勢原市立成瀬小学校5年
丸山七海



伊勢原市立緑台小学校5年
河 崎 真 菜



海老名市立海老名小学校5年
柳田尚人



伊勢原市立桜台小学校6年
石井大翼



伊勢原市立比々多小学校6年
古谷 碧



伊勢原市立比々多小学校6年
山本俊和



湯河原町立東台福浦小学校6年
堀川優芽



厚木市立林中中学校1年
藤原 葵



伊勢原市立伊勢原中学校1年
山崎愛望



綾瀬市立春日台中学校1年
伊倉実希



神奈川県立相模原中等教育学校2年
高橋直也



座間市立座間中学校2年
加藤佑麻



寒川町立旭が丘中学校2年
後藤佑実



小田原市立城南中学校3年
津田春乃



伊勢原市立伊勢原中学校3年
兒玉直輝



川崎市立川崎総合科学高等学校2年
植松美帆



川崎市立川崎総合科学高等学校1年
砂長正宗



神奈川県立弥栄高等学校1年
木下美乃里



川崎市立川崎総合科学高等学校2年
津久井藍



神奈川県立弥栄高等学校2年
山本裕乃

あらまし

「明るい選挙啓発ポスターコンクール」は、明るい選挙を推進するために、小学校・中学校・高等学校等の児童・生徒の皆さんを対象に、毎年行われています。

今年もたくさんの応募があり、しかも力作ぞろいでした。そのため選考が難しく、審査員も審査に当たり大変苦労しました。応募された皆さん、御協力いただいた先生方に深く感謝します。

これからも、一人でも多くの皆さんが、政治や選挙に興味を持って、応募してくださることを期待しています。

応募状況

今年度は、210校から、2,536点の応募がありました。

年度 学校	20	21	22	23	24
小学校	1,454	1,576	1,713	1,911	1,562
中学校	972	928	747	1,169	931
高等学校	13	43	9	59	43
合計	2,439	2,547	2,469	3,139	2,536

審査結果

平成24年9月21日に行われた県の審査会において、小学生10名、中学生8名、高校生5名の計23名の方が優秀賞を受賞されたほか、小学生20名、中学生21名、高校生5名の作品が佳作となりました。

審査員

甲斐 秀幸（神奈川県教育局教育指導部高校教育企画課副主幹）
忽滑谷 章（財団法人神奈川産業振興センターデザイン専門相談員）
三浦 潤子（神奈川県明るい選挙推進協議会監事）
神奈川県選挙管理委員会委員
神奈川県選挙管理委員会書記長

審査講評 審査員代表 忽滑谷 章

新しいお友達に出会い、自分のことを知ってもらって仲良くなりたい時には、どうしますか。相手のことを考え、良いところを見つけて、話しかけるでしょう。それが「伝える（伝わる）」ことです。今ほど、正しく相手に「伝える」ことが大切な時代はありません。国から国へ、人から人へ、友から友へ、大人から子へ、先生から生徒へ。

伝える道具の一つであるポスターは、「なるほど」と思えること、「ユーモア」や「ちょっとした驚き」などで、それを見るいろいろな人の心をつかみ、感動を与えます。現代はWEBやメール、テレビやスマートフォンなど様々な伝える手段があって、ポスターも駅や車中などで見られます。

ポスター制作では何を「伝える」かを絞り、言葉（コピー）でないと説明できないこと、絵（イラスト）でないと説明できないことを探して、よい組み合わせ（アイデア）を見つけます。今のデザイナーは、コンピュータを使ってデータにして印刷所に持ち込みますが、基本的には手で描き、頭で考えたアイデアや思い（心）をうまく伝えられるかどうか、よいポスターとなる条件です。

「明るい選挙」は、民主国家の日本ではいろいろな職業や考えを持つ人が自由に自分の意見を言って、よりよい政治が実行され、豊かな生活ができるように代表を選ぶ「選挙」です。一人ひとりが一票ずつ公平に正しい選挙を行って、代表にふさわしい人を選ぶことが大切です。

（財）明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞に選ばれた柳田尚人君（小5）の作品は、魚屋さん、お米屋さん等、どこの街にもいそうな人を太い線のイラストと文字で描いて、力強いポスターになりました。また、同賞を受賞した石井大翼君（小6）の作品は、鳥によって重ねられた沢山の投票用紙とスカイツリーで代弁させた「未来感」をポスターに並べて、「届け！未来へ」の意味をより空高く語らせています。そして、みごと文部科学大臣・総務大臣賞を受賞した後藤佑実さん（中2）の作品は、絵巻の十二単の柄を全面に使い、コピーで「行き先を決めるのはYOUたち」だから未来の君たちには選挙が大切なんだ、と言い切っているところが力強くよいと思います。

その他、佳作の中の、伊藤優里さん（中3）の作品「一票に夢を託して」は、街中のみんなが筆を持ち、街づくりを描いているアイデアがよく、また、植田美月さん（中3）の作品は、投票箱の口から日本列島の眼が覗き、投票箱の中には街や生活する親子とメッセージの文字が見えて、力強く伝えています。

来年もまた、あっと思える作品を期待しています。